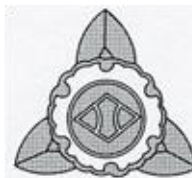


小須戸小学校だより

NO. 7

令和3年12月23日(木) 発行



いよいよ始まる冬休みにむけて

いよいよ明日から、18日間のいつもよりちょっぴり長い冬休みに入ります。市内の感染状況も落ち着いていることから、今日は、2021年の締めくくりの意味も込めて、久しぶりに全校集会を開きました。

まず、生活指導の村山先生から、冬休みの過ごし方について、小須戸っ子マインド「尊重」「責任」「安全」の行動基準を意識して、自分の生活や学習に取り組んでほしいとの話がありました。

また、冬休みの宿題は、学校として、夏休みに引き続き一律課題は出さないこと。しかし、それは、何もしなくてもよいということではなく、4月からの授業や学習の取組を振り返って、自分で決めた学習課題に、計画性や見通しをもって取り組んでほしいこと。長期の休みでなければ、なかなかできないこと、取り組めないこと等にも積極的にチャレンジしてほしいという意味であることなどを伝えました。

学校は、子どもの力を信じています。たとえ、計画がうまくいかなかったり、思うように取り組むことができなかったりしたとしても、その課題が明らかになれば、改善していくことができます。そして、その課題解決のためにどのようにしていったらいいのかを一緒になって考え、子どもが再チャレンジしようとすることを応援・伴走していくことが、私たち教師のとても重要な務めであると考えています。

誰もが、失敗するのは嫌ですし、間違いを起こしたくはありません。しかし、失敗しなければ、失敗した時にどうしたらいいかを学ぶことはできません。上手く出来ないからと言ってやらないでいれば、いつまで経ってもできるようにはならないのです。つまり、うまくいかなかった時、失敗した時こそが、いい学びのチャンス、学ぶ意義なのではないでしょうか。このことを踏まえて、冬休みの過ごし方について、お子さんがどのように過ごそうと考えているのかをまずは、しっかり聞いてください。そして、子どもが決めたことについて、子どもに委ね、応援しながら、子どもが自分の生活や学びを舵取りできるよう、ご家族の皆様からのご支援をよろしくお願いいたします。

学力検査の結果について

1 NRTの検査の結果(令和3年4月実施) *数値は偏差値平均

	2年	3年	4年	5年	6年
国語	56	51.4	51.7	54.4	47
算数	54.6	50.5	48.8	49.8	46.6

2 全国学力・学習状況調査の結果(令和3年4月実施) *数値は平均正答(%)

	小須戸小	新潟市	新潟県	全国
国語	61	66	63	64.7
算数	65	71	68	70.2

4月に実施した上記の調査結果を踏まえ、これまでの教師が教える一斉授業から脱却し、子どもが主体的に自ら学ぶ授業への転換を図る必要を痛感し、学校全体で、授業改革を着実に推進していくこととしました。

子ども一人一人が主体的な学習者として成長していけるよう教師が伴走者となり、誰もが学べる教室を実現することを目指します。そうして、子どもの学習意欲を育てていこうとするものです。教師主導でガンガン学習をやらせているだけでは、子どもの主体性を育てることにはつながりません。小須戸小学校が目指しているのは、自ら学ぶ学習者です。そのためには、教師自身も進化していかなければなりません。学校として教職員も主体的な学習者となって授業改革に取り組みながら、子どもが自分の学びを舵取りし、自分に合った学び方で学習できるよう、子どもたちと共に新たな授業の在り方に取り組んでいきます。

学習意欲に関するアンケート調査の結果と考察

3年生の結果 記述統計量			
	度数	平均値	平均データ
自主的学習態度	43	14.09	13.24
達成試行	43	15.67	15.92
責任感	43	16.88	16.17
従順性	43	15.72	15.14
自己評価	43	14.86	14.26
失敗回避傾向	43	10.44	9.76
持続性の欠如	43	10.56	11.83
学習価値観の欠如	43	8.95	9.91

4年生の結果 記述統計量			
	度数	平均値	平均データ
自主的学習態度	39	13.87	13.34
達成試行	39	14.67	14.41
責任感	39	16.33	15.34
従順性	39	14.85	15.4
自己評価	39	14.10	14.02
失敗回避傾向	39	11.92	10.34
持続性の欠如	39	11.72	12.81
学習価値観の欠如	39	9.77	10.64

5年生の結果 記述統計量			
	度数	平均値	平均データ
自主的学習態度	43	14.81	12.12
達成試行	43	14.09	13.89
責任感	43	16.40	14.85
従順性	43	13.86	14.32
自己評価	43	13.86	13.57
失敗回避傾向	43	11.63	10.72
持続性の欠如	43	12.53	12.88
学習価値観の欠如	43	11.72	10.64

6年生の結果 記述統計量			
	度数	平均値	平均データ
自主的学習態度	32	13.38	12.03
達成試行	32	14.59	13.23
責任感	32	17.28	14.25
従順性	32	13.88	13.45
自己評価	32	13.97	12.99
失敗回避傾向	32	11.00	10.91
持続性の欠如	32	12.81	12.87
学習価値観の欠如	32	10.94	10.53

3年生以上を対象に学習に対する価値観や態度、意欲に関するアンケート調査を実施しました。平均値というのが当校の児童の数値で、平均データが1000人規模で東京・埼玉を中心に調査したデータです。

一概には言えませんが、上の黄色い部分は、平均データよりも高いほどポジティブで、下の青い部分は平均データよりも高いほどネガティブであることを示しています。

<3年生>

持続性の欠如、学習価値観の欠如が平均データより1ポイント以上低い数値になっています。これは、努力を継続しようという意欲や一生懸命に頑張ろうとする態度が平均よりも高く、また、勉強には意味があるという考えが高いことを示しています。

<4年生>

学習に対する「責任感」の項目が高く出ています。「やり残した課題は、後になっても最後までやり遂げる。」「宿題はしっかりやらなければならない。」と言った意識が高いことを表しています。また、学習は意味があるという学習価値観も高く出ています。特に4年生は、PBISで望ましい行動について4月から学んできたことがデータで表れていると考えられます。

<5年生>

「学習は自分でやるものだ」と言った「自主的学習態度」、責任感、達成志向に2ポイント以上の意識の高さが見られます。昨年度から先行してUDLを基軸にした授業改革に取り組んできた成果と捉えています。また、従順性が低く出ています。これは、「先生の教え方がいから勉強が分かる」「先生の言う通り従順に学ぶ」などの質問項目でした。5年生では、この項目が低く、先生任せにした学び方の意識が低いことを表しています。日頃から、「学習は、自分たちでやる」、「効果的な学び方を自分で試行錯誤しながら多様な学び方のオプションを増やす」といった子どもへの働きかけや意識づけが、この従順性の低さ、つまり、子どもが自ら学ぼうとする意識の高さに表れていると捉えています。一方、失敗回避傾向や学習価値観の欠如の項目が平均データより高く出っていますが、子どもが質問の解釈を二つの意味に捉えている可能性があります。NRTの解答分析では、5年生が群を抜いて無答が低いという結果も出ており、丁寧に解釈する必要があると考えています。

<6年生>

全体的に学習に対する態度や意識の高さが示されました。特に、責任感は、3ポイントも高い傾向にあります。4月以来、個別最適な学びと協働的な学びを意識していろいろなスタイルの授業や活動を行いながら、子どもたちが中学生以上になっても、受け身ではなく、学習を自分のものとして捉え、粘り強く学習や課題に取り組む力を育てたいという願いが、数値となって表れていると捉えています。卒業まであと3か月、子どもたちと共に誰もが主体的、意欲的に学べる授業づくりに取り組んでいきます。

自分の「学び」や「生活」を自分で舵取りする子どもを育てるために

～小須戸小学校の新しい教育を推進するために学び続ける教職員集団～

学校プロジェクトの推進



教育活動の3本柱

- ①UDLに基づく授業改革
- ②PBISによる生徒指導改革
- ③地域に貢献できる子どもを育てる生きる力の育成

小須戸の未来を担うのは、今、目の前にいる小須戸小の子どもたちです。自分の「学習」や「生活」を自分で舵取りし、どんな状況でも、たくましく生き抜いてほしい、そして、自分のためだけに生きるのではなく、世のため人のため、郷土のために自分の力を発揮できる力を育てるために、教科横断的に教育活動を創造し、推進しています。

外部講師を招聘した職員研修



UDLについては、北海道教育大学の川俣智路先生、NY州スクールサイコロジストのバーズ亀山静子先生、PBISについてはシカゴホワイトリー小学校の中川優子先生から伴走していただきながら全教職員で授業改革と生徒指導改革に取り組んでいます。今年度は、月に1回、教職員研修の日を設定し、研修と実践に組織的に取り組んでいます。

その他、北海道教育大学と企業と協働して、学習意欲を高めるデジタル教材やAI学習アプリ等の活用と実践研究に取り組んでいます。

UDLに基づく授業改革



授業改革をより一層推進していくために、北海道教育大学より、360°カメラを4台借り受けています。11月に実施した1日オープンスクールの際、プレイルームで視聴していただいた運動会の動画も360°カメラで撮影したものです。

教職員は日々このカメラを活用して自分の授業を撮影し、UDLに基づく授業改革に取り組んでいます。また、撮影した動画は教師だけでなく、子どもたちとも一緒に見ながら、子ども自身の学び方理解や学び方の選択肢を増やす一助にしています。

これからの時代を生きる力の育成とICTを活用した学習の推進

北海道教育大学と企業との協同研究により、個別最適な学びと協働的な学びをより一層推進しています。

①学習アプリやデジタル教科書の活用

ロイノートスクールの活用に加えて、内田洋行のデジタルスクールノート等の学習アプリやデジタル教科書などを導入し、子どもが学び方を選択できるよう、学年や子どもの状況に合わせながら、効果的な活用の仕方を模索しています。当校では、ICTを学習道具の一つと捉え、子どもが選択できるようにいろいろな環境を整えながら、子どもが学びやすい方法を選択して学べる力を育てていきます。

②AI搭載型家庭学習用アプリの活用

AI搭載型家庭学習アプリ(以下、キュビナ)は、一人一人の間違いの傾向を見付け、その部分に焦点を当てて繰り返し練習問題を提示したり、発展問題に挑戦したりできるアプリです。キュビナを活用することで、一人一人にあった課題への取組を促したり、課題に物足りなさを感じている子どもが発展的な問題に挑戦したりすることができます。協同研究の一環で、12月～3月に試行的にキュビナを活用し、特に、家庭学習での子どもの学習意欲の喚起を試みます。子どもたちが自分の学びやすい方法で家庭学習を行うことができるように、小須戸小学校は新たな挑戦を行っていきます。

一日オープンスクール(11/25) ありがとうございました!

1日オープンスクールに、大勢の保護者の皆様からおいただきました。参観した皆様からいただいた教職員や児童への励ましカードの一部をご紹介します。

- ・子どもたちの学習に対する意欲が見られてうれしく思います。一生けんめい何事にも取り組む姿、大人も見習わない!と思いました。意欲的な子どもの姿が見られて、うれしいです。
- ・子どもたちが各々考え、それを発言できるよう取り組まれていると感じました。個性も感じられる授業を見ることができて良かったです。ありがとうございました。
- ・子どもたちに合った学習指導していただき、安心して様子を見ることができました。自分で学習内容を考え、取り組む様子もみられます。あたたかい雰囲気に包まれ、気持ちがいやされました。ありがとうございました。
- ・総合のグループ発表の練習で、仲良くその子のできることを声を掛け合って進めていく姿に感動しました。また、タブレットを巧みに使いこなし、資料を作成する技術も、すばらしいです!将来が楽しみです!作品展示もありがとうございました。大好きな子どもたちの作品を観て元気をいただいた1日でした♡へへ、
- ・理科と外国語を観させて頂きました。理科の実験では真剣にクラスのみなどと協力しながら取り組んでいる様子が見られて良かったです。外国語は最初のベンジャミン先生の登場には笑ってしまいましたが、私自身も外国語(英語)は好きなので「ああそうだったな」と改めて思い返したりしました。これからも勉強等頑張ってください。応援しています。
- ・6年生になると iPad を使いこなし、アラーム一つで動けることに驚きました。これも先生方の指導あつての行動ですね。コロナという大変な時代でも楽しみを自分たちで見つけ、運動会や修学旅行に行けたこと、よき思い出となっていると思います。卒業までの数か月、感謝を忘れず楽しんでもらいたいです!

児童の交通事故防止に向けて パート2

秋の交通安全週間での横断歩道の渡り方の動画「渡るよサイン」が、子どもたちにとってわかりやすく好評でした。

新型コロナウイルス感染症により、例年行われていた自転車教室が2年続けて開催できなかったことから、秋葉警察署交通課と相談したところ、交通事故防止動画の第2弾として、「自転車の乗り方・点検の仕方」についての動画を作成してくださいました。



交通安全 PR 映像の

撮影風景

私は、交通安全教室をして、自転車の乗り方をきちんと学習できました。次から自転車に乗るときは「ぶたはしゃべる」をおぼえて自転車の点検をしたいと思います。

この学習をいかして、自転車に乗りたいです。自転車を買うときは、両足がつく、自転車を選びたいです。

(3年生児童)

日常生活で友達の家やスーパーに自転車に行くことが多いので、動画を見て秋葉警察署の人が言っていることを意識して乗りたいです。自転車に乗ってけがをしないように、「ぶたはしゃべる」の「た」の「タイヤ」を特に点検したいです。

(6年生児童)

子どもたちは、ロイロに入った「自転車の点検編」「自転車の乗り方編」の動画を見ながら、自転車の乗り方について今一度考える機会になりました。ご家庭でも親子で動画を視聴し、安全な自転車の乗り方について確認をお願いします。